







すべての人々の善意をお届けする世界唯一の新聞

# 善意新聞

〈第6号〉 善意新聞は、毎月22日に  
東大阪新聞特別号として発行

発行発起人・主幹  
別所 憲隆 東大阪新聞八尾柏原支社  
〒581-0016 八尾市八尾木北3-137  
電話/FAX072-993-2037

## 善意新聞の基本理念

善意新聞の発行理念は、次のことに基づいています。我々の宇宙には、聖実在より社会法則として、全ての人々が守るべき一大基本法則(黄金則)がもうけられており、他のすべての諸法則・諸原理は、この基本法則の上に確立されています。

それは「自分にされたことを他の人々に為す」というものです。

というのは、もし各人が自分自身の内に最も(聖なる)最高(靈・善)を反映し、全ての人々がその法則を守る(善行)ならば、そこには不調和・不正義・暗黒もなければ苦しみもなくな�니다。

これを基礎にしたのが善意新聞であります。

そして、更に各人が自然の各基本法則の理解、我々の住む宇宙の各基本法則の理解にと進歩し、

「自分にされたことを他の人々にしない」

「相手の欲するものを与え、相手の欲しないものを与えない」という新時代の法則(黄金則)の働き手となるのです。

するとそこには、平和・調和・光があり、喜びがある地上天国、つまり新黄金世界が築けるのです。

## ●主旨

全ての人々に内在し潛在している、聖なる善意に基づいた、様々な善行をお届けすることにある。

## ●目的

他者の善行に動機づけられ、勇気づけられ、自己の聖なる善意を表現し、全ての人々が聖なる善行で平和な人生を送ることにより、真・善・美に満たされた家庭・職場・地域・社会・国づくりにあら。

## ●理念

一、自分にされたことを他の人々に為す(これが基盤となり)  
二、自分にされたことを他の人々にしない  
三、相手の欲するものを与え、相手の欲しないものを与えない

M・ドリール博士



米国公益法人「世界の主アヴァター・ハルジャス財団」理事長に就任した別所憲隆氏



はじめあらゆる法則について、卒業生含め約100人が学んでいる。突き詰めると、人間とは何か、人間とどうからやって来てどこへ行くのか、あるいはこの世に生まれてきた目的を知るために学ぶを深めている。人間と神、人間と仏、人間と宇宙といったあらゆる関係性についても学んでいる。

さらに、BWTJヨガ学院、自然療法健康センターを立ち上げるなど、BWTJ平和学院と並行してさまざまな活動を行ってきた。ところで、日本には内閣総理大臣といふ

## 「世界の主アヴァター・ハルジャス財団」設立

米国公益法人「世界の主アヴァター・ハルジャス財団」理事長に就任した別所憲隆氏

「世界の主アヴァター・ハルジャス財団」は、米国公益法人「世界の主アヴァター・ハルジャス財団」の実在、働き、メッセージを伝えるため、別所主幹は米国公益法人「世界の主アヴァター・ハルジャス財団」を7月に設立し、9月からホームページをアップ本格的に動き出した。理事長には別所主幹が就任。理事長は日本ランチエスター工業株式会社の新垣健社長と新垣尚裕専務、それにアメリカ・ホーリル大学学長オーサー・ヤマダ氏。日本本部はBWTJ内にアメリカ本部はホーリル大学内に置かれた。実際の新垣健氏は「理事に加わって、光栄に思っています。世界は日本の内面的平和が現れています」と熱い思いを語った。

新垣健氏は「理事に加わって、光栄に思っています。世界は日本の内面的平和が現れています」と熱い思いを語った。

新垣健氏は「理事に加わって